京都工芸繊維大学　社会人対象リカレント教育プログラム　履修証明プログラム

ヘリテージ・アーキテクト養成講座

歴史的建築物の保存再生のための人材育成

昨今、文化財保護の対象の拡大、歴史的建築物の活用の促進など、建築や都市の保存再生の社会的意義の認知やその実例が格段に増えつつあります。またヘリテージ・マネージャーの養成が全国で進み、文化遺産保護を支える人材の裾野が広がってきています。そんな中、保存再生のデザインのあり方に多様な問題が立ち現れるようになってきました。

京都工芸繊維大学では、2015年度より大学院建築学専攻に特別教育プログラム「建築都市保存再生学コース」を設置し、建築や都市の保存再生事業をリードしうる人材の育成に向けた教育研究を進めてきました。その蓄積を踏まえ、2020年度より、社会人を対象とするリカレント教育プログラム「ヘリテージ・アーキテクト養成講座」を新たに開講いたしました。

本養成講座では、建築の実務に特化してリビング・ヘリテージの保存再生デザイン及び活用提案を行う高度な能力を有する人材、すなわち「ヘリテージ・アーキテクト」を養成することを目的とした教育を行います。

改修計画・設計の提案を通じた実践的講座

本講座は、オンラインを用いた講義形式の「講義」と大学外での改修現場などの「見学」、さらに受講生が実際の歴史的建築物を対象に実習形式で改修計画および改修設計を行う「プロジェクト」の、大きく3種類の授業で構成されています。

中でも「プロジェクト」は、本講座の目玉となる授業です。既存の歴史的建築物を対象とし、受講生が改修計画や改修設計を行います。転用後の機能を各自が設定し、建物の価値に応じた改修デザインを提案します。その提案に対して、本学教員や学外の専門家を交えた「講評会」を繰り返し、「最終講評会」を目指します。

対象者

建築士（一級、二級、木造建築士のいずれか）資格保持者、かつ、以下のいずれかの条件を満たす方

A. ヘリテージ・マネージャー（文化財マネージャー）修了認定保持者

B. 歴史的建築物の保存再生について実務経験がある方

・実務経験の証明：物件の写真・解説をA4・半ページ程度でまとめたものを提出

選考の方法

定員を上回って応募があった場合、対象者の資格や実務経験等を元に専任教員が協議し、受講生を選考いたします。

開催日時

2022年9月24日（土）～2023年2月19日（日）
原則隔週土曜日　10:30から17:40（17:10）
2022年12月25日、2023年2月19日のみ日曜日開催
（全11回　計60時間）（予定）

募集人数

2022年度　30名程度

- 第1回（9月24日）、第4回（10月29日）、第6回（11月26日）、第9回（1月21日）の4回の講義は、1限（2限）から4限まで全てリモート授業となります。
- プロジェクト講評会と当日午前中の講義は大学内で受講となり、見学会・プロジェクト見学会・実測調査は京都市近辺での見学および調査を予定しています。
- 今後のコロナ禍の状況によっては、全てオンラインとなる等、実施方法等が変更になる可能性があります。

申込期間

申込開始：2022年6月13日（月）
申込締切：2022年7月22日（金）（当日消印有効）

- 申込多数の場合は書類選考

【そのほか詳しい募集要項については、裏面をご覧ください】

申込方法

履修を希望する方は、次に掲げる書類を郵送してください。

(1) 履修証明プログラム受講申請書　【Word 版】【PDF 版】

(2) 最終出身校の卒業証明書または修了証明書、もしくは卒業見込証明書または修了見込証明書（卒業証書の写し可）

- 選考結果については 8 月半ば頃までに連絡致します。
- 受講が許された方には、学務課より「受講決定通知書」「振込先の案内」を送付します。
- 受講生「最終成果物」の知的財産権の取扱いについて。右のページの内容をご確認いただき、申込時に知的財産権についての規定をご承諾いただいた方のみ、受講申請書を受付けます。【知的財産権の取り扱い】

履修証明書の交付

60 時間すべての講座に出席された方には、本学発行の履修証明書を発行します。
（参考：大学の履修証明制度について（文部科学省 HP）

申込先

宛先　〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町 1
京都工芸繊維大学 学務課 連携教育係

プロジェクト講評会と当日午前中講義の開催会場

京都工芸繊維大学松ケ崎キャンパス 内
(地下鉄烏丸線松ヶ崎駅より徒歩 10 分)
【アクセス MAP】

見学会 , プロジェクト見学会の場所

京都市近辺の保存再生事例を予定。

- リモート講義については、講座開講までに事務局より別途詳細をお知らせします。

受講料

90,000 円 (1 人)

- 受講料は受講が許可された後で納付してください。入金確認後、受講可能となります。
- 見学会、プロジェクト見学会当日の入館料、交通費等は自己負担となります。（講座開始後、雑費（見学先へのお礼等）を別途徴収します。）

CPD

本講座の講義科目は京都府建築士会 CPD プログラムに認定される予定です。

後援

一般社団法人日本イコモス国内委員会
一般社団法人 DOCOMOMO Japan
京都市文化財マネージャー育成実行委員会
(NPO 法人古材文化の会、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、一般社団法人京都府建築士会、京都市)
京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

問い合わせ

京都工芸繊維大学ヘリテージ・アーキテクト養成講座事務局
E-mail：hakit@kit.ac.jp

- 問い合わせは、メールにて事務局にお願いします。
- 返信には 2、3 営業日かかることをご了承下さい。
- 月曜日～金曜日、9 時～ 17 時
  （土日祝日の問合せは週明け月曜日以降になります。）

ヘリテージ・アーキテクト養成講座の HP

https://www.hakit.kit.ac.jp

2022年度 講座内容・日程表

日程	形式	テーマ		第１限 10：30～12：00	第2限 12：50～14：20	第3限 14：30～16：00	第4限 16：10～17：40（17:10）	
9月24日（土）	リモート	理念	今年度オリエンテーション 9:30~	講義 保存再生の枠組 京都工芸繊維大学　清水重敦	講義 保存再生の理念と方法 京都工芸繊維大学　マルティネス・アレハンドロ	講義 保存再生のデザインと方法 京都工芸繊維大学　花田佳明	講義 保存再生のデザインと評価 京都工芸繊維大学　笠原一人	
10月1日（土）	対面			10:00~ 見学会① 京都市近辺の保存再生事例 京都工芸繊維大学　魚谷繁礼		プロジェクト／見学会 プロジェクト対象3物件見学		17:10
10月15日（土）	対面			講義 プロジェクト/実測調査 長岡造形大学　津村泰範		プロジェクト／実測調査 メイン講師：花田佳明・田原幸夫 ゲスト講師：津村泰範		17:10
10月29日（土）	リモート	マネジメント		講義 保存再生と不動産 マットシティ／みんなの不動産　末村巧	講義 保存再生と不動産 創造系不動産　高橋寿太郎	講義 保存再生と法規 建築再構企画　佐久間 悠	講義 保存再生と都市計画 日本郵政　黒木正郎	
11月12日（土）	対面	マネジメント		講義 マネジメントと保存再生 アークブレイン　田村誠邦	周辺調査・プログラム提案	プロジェクト/　講評会 ① メイン講師：花田佳明・田原幸夫 ゲスト講師：田村誠邦		
11月26日（土）	リモート	構造・技術			講義 保存再生と施工・技術 竹中工務店　中嶋徹	講義 保存再生と歴史調査 清水建設　平井直樹	講義 文化財建造物の耐震補強 文化財構造計画　冨永善啓	
12月10日（土）	対面	構造		講義 構造家　実施例 京都工芸繊維大学　満田衛資	歴史・構造評価	プロジェクト/　講評会 ② メイン講師：花田佳明 ・田原幸夫 ゲスト講師：満田衛資		
12月25日（日）	対面	デザイン		講義 建築家　実施例（京都市美術館） AS　青木淳	デザイン・設計提案	プロジェクト/　講評会 ③ メイン講師：花田佳明 ・田原幸夫 ゲスト講師：青木淳		
1月21日（土）	リモート	デザイン			講義 保存再生のデザインと実務 京都工芸繊維大学　田原幸夫	講義 建築家　実施例 京都工芸繊維大学　中山利恵	講義 建築家　実施例 メグロ建築研究所　平井充	
2月4日（土）	対面			見学会② 京都市近辺の保存再生事例	エスキース検討会	プロジェクト／講評会④ メイン講師：花田佳明・田原幸夫 ゲスト講師：長坂大		17:10
2月19日（日）	対面				最終プレゼンテーション	プロジェクト／最終講評会 メイン講師：花田佳明 ・田原幸夫 ゲスト講師：長坂大		

- **講義**1.5時間×18コマ（**27時間**）＋**プロジェクト**1.5時間×3コマ×7回ー0.5時間×3コマ（**30時間**）＋**見学会**1.5時間×1コマ×2回（**3時間**）＝合計40コマ（**合計60時間**）
- 第4回10月29日（土）「マネジメント」、第6回11月26日（土）「構造・技術」、第9回1月21日（土）「デザイン」は、本学大学院・建築都市保存再生学コースの講義にも設定されています。
- 第1回9月24日（土）、第4回10月29日（土）、第6回11月26日（土）、第9回1月21日（土）は1限あるいは2限より4限までリモート講義となります。

講義/オリエンテーション
見学会/実測調査
プロジェクト（講評会）

改修プロジェクト対象建物見学会

改修プロジェクト講評会風景

改修プロジェクト最終講評会風景

受講生の改修プロジェクト案